

News Letter

神奈川県聴覚障害者福祉センター

きこえ支援情報館

vol.01



発行/2021年2月1日 神奈川県聴覚障害者福祉センター補聴相談室

きこえにくい人のための「コミュニケーション講座」オンラインで初・開催

第5回

きこえにくい人のためのコミュニケーション講座
テーマ「拡げよう字幕の世界を」
神奈川県要約筆記協会の小原氏にご講演
いただきました。

きこえにくいとコミュニケーションや情報を得るうえで不利なことがあります。しかし、文字で情報を得ることで世界は広がります。そのために、字幕や要約筆記があります。最近では、落語や能の舞台で字幕が付いたり、テレビも字幕が付いたりします。今回は字幕付き作品の上映はできませんでしたが、3月のコミュニケーション講座で上映を予定しています。お楽しみに。

次回の案内

2月20日(土) 10~12時

体験談(2)「自分のきこえを伝えてみよう」

神奈川県中途失聴・難聴者協会の紹介

きこえない(きこえにくい)当事者の会です。聞こえに困っている方のために交流の場、学びの場を提供している団体です。手話、要約筆記を含むトータルコミュニケーションを研究・実践し、聞こえにくい方にも住みやすい社会を目指しています。詳しくはホームページをご覧ください。
<https://jinnancho.org/>



神難聴ホームページから引用

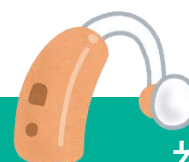
「耳マーク」をご存じですか？

きこえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない、聞こえにくい人への配慮を表すマークです。最近では必需品となったマスクにマークを付けたり、診察券に耳マークのシールを貼ったりして周囲に伝えていけるといいですね。



全難聴より引用

<https://www.zennancho.or.jp/mimimark/mimimark/>



補聴相談室から



空気電池の寿命

人工内耳や補聴器で使われる空気電池ですが、冬場は、低温や乾燥により電力が低下します。夏と比べて、35%以上、寿命が短くなることがあります。

補聴器を使用されている方で、3日しかもたないと話していた方もいました。補聴器や人工内耳でどのくらい音を出すか、どんな機能を使うかによっても変わってきます。

使い始めは30秒待って、暖めてから使しましょう

